

がんばりを可視化して「現場力を高める」Habi*do

株式会社 Be&Do（大阪府大阪市）



「Habi*do（ハビドゥ）」は、組織やチームといったグループで利用することを前提に開発されたシステムで、グループ内のメンバー同士の目標・習慣・タスク・学びを可視化・共有し、お互いのがんばりを承認し合うことにより、切磋琢磨しながら成長が可能となるツール。ゲーム的な仕掛けと AI で「褒める・認め合う」仕組みを搭載し、組織全体のエンゲージメント（つながり・絆）の向上を目指し、一人ひとりが自律的にイキイキと仕事に取り組む真の働き方改革の実現を後押しする。

支援施策活用が認知されるきっかけ

好業績を上げるチームには「明確な目標がある」「目標に至るプロセスが共有されている」「メンバー同士の信頼感が高い」という共通項が存在する。この共通項は、同社設立前石見代表がチームパフォーマンスを高めるためのコンサルティングを行っていた頃から感じていた内容であり、この実現のため IT を活用して従業員の行動を習慣化に導くツールとしたものが「Habi*do」の原型である。

事業立ち上げ当初には、大阪市のシードアクセラレーションプログラム「OIH Seed Acceleration Program (OSAP)」や各所にピッチに参加することで、先進的な技術を有するベンチャー企業として認められ、「Habi*do」導入先の拡大につながった。

初心に立ち戻り更なる拡大を目指す

同サービス導入当初において、ヘルスケア分野での活用事例が「健康経営」ブームと相まって多くなったが、現在事業ドメインを

見直し、本来目指していた「行動変容によって現場力を高める」ことに特化した事業展開にしている。

その結果、類似サービスとの差別化が可能となり、価値についても訴求しやすい状況が生まれ、導入事例も出てきている。この勢いのままに、サービス拡大を実現したいとしている。



《企業概要》

株式会社 Be&Do
530-0047 大阪府大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビル 305 号
代表取締役 石見 一女
<https://be-do.jp/>

《関西のベンチャー企業である意義》

関西は、東京に負けないビジネスの土壌があります。その土壌を活かしたビジネス、企業が増えれば、「働く場」が創出され、さらに魅力的な地域とすることができます。

（代表取締役 石見 一女）

